



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月27日

上場会社名 日本精化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4362 URL <https://www.nipponseika.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 矢野 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大倉 善弘 TEL 06-6231-4781
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 24,789 | 10.7 | 3,756 | 25.6 | 3,980 | 24.9 | 2,682 | 9.5 |
| 2021年3月期第3四半期 | 22,394 | 2.8 | 2,989 | 8.8 | 3,186 | 6.7 | 2,449 | 24.3 |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,543百万円 (△39.7%) 2021年3月期第3四半期 4,220百万円 (107.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 112.96 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | 103.13 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 54,771 | 44,318 | 79.4 |
| 2021年3月期 | 53,265 | 42,846 | 79.1 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 43,504百万円 2021年3月期 42,116百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 16.50 | — | 18.50 | 35.00 |
| 2022年3月期 | — | 25.00 | — | | |
| 2022年3月期（予想） | | | | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,500 | 6.5 | 4,500 | 14.2 | 4,800 | 15.5 | 3,200 | 16.0 | 134.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期3Q | 25,372,447株 | 2021年3月期 | 25,372,447株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | 1,625,852株 | 2021年3月期 | 1,625,639株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期3Q | 23,746,722株 | 2021年3月期3Q | 23,746,934株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (会計方針の変更) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気回復に伴う需要拡大、部品供給不足の改善に伴う自動車生産の回復や、9月末の緊急事態宣言解除による活動制限の緩和を受けた消費活動の持ち直しなどを背景に景気は改善傾向にあります。一方で、足許では新型コロナウイルスのオミクロン株の感染急拡大、また、サプライチェーンの混乱や物価上昇など景気の下振れリスクがあり、先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなかで、当社グループは経営基盤の更なる強化に取り組むとともに、収益拡大に貢献する製品開発とその拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は247億8千9百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。利益面は営業利益37億5千6百万円（同25.6%増）、経常利益39億8千万円（同24.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億8千2百万円（同9.5%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 工業用製品事業

当セグメントにおきましては、ラノリン・コレステロールは、中国、米国の景気回復に伴い海外向け販売が大幅に増加しました。化粧用機能原料は、中国、国内の化粧品市場の回復や、顧客の大型製品に当社品が採用されたことなどにより前年同期を上回りました。医薬用リン脂質は、海外向け拡販が計画通りに進みました。また、汎用工業用原料は、半導体、自動車などの需要が回復し販売が増加しました。一方で、機能性コーティング剤は、医療用保護メガネ用途の需要が落ち着き、販売が減少いたしました。この結果、売上高は175億1千1百万円（前年同四半期比23.5%増）となりました。販売増加に伴う工場稼働の改善や品種構成の良化などもあり、セグメント利益（営業利益）は28億4千2百万円（同58.7%増）となりました。

② 家庭用製品事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大により環境衛生関連市場は拡大しましたが、新規業者参入などの影響もあり品薄状態が解消され販売が減少いたしました。この結果、売上高は64億1千2百万円（前年同四半期比14.1%減）、セグメント利益（営業利益）は6億6千5百万円（同39.1%減）となりました。

③ その他

その他の事業の売上高は8億6千5百万円（前年同四半期比16.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2億4千7百万円（同133.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という。）比15億5百万円増加し、547億7千1百万円となりました。これは主として、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金並びに原材料及び貯蔵品の増加などにより流動資産が4億1千2百万円増加し、建設仮勘定の増加などにより固定資産が10億9千3百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前期比3千3百万円増加し、104億5千2百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が1億6千万円増加した一方で、環境対策引当金の減少などにより固定負債が1億2千6百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前期比14億7千2百万円増加し、443億1千8百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上26億8千2百万円及び配当金の支払い10億3千2百万円などにより株主資本が16億4千8百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金の減少などによりその他の包括利益累計額が2億6千万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月28日公表の通期業績予想に修正はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,373,553 | 12,273,943 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,873,963 | 8,989,763 |
| 商品及び製品 | 2,659,849 | 2,983,194 |
| 仕掛品 | 1,801,691 | 2,109,539 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,088,918 | 2,832,736 |
| その他 | 131,006 | 152,449 |
| 貸倒引当金 | △244 | △207 |
| 流動資産合計 | 28,928,738 | 29,341,420 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,706,052 | 3,619,378 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,574,103 | 1,391,917 |
| 土地 | 3,725,754 | 3,759,754 |
| 建設仮勘定 | 1,690,857 | 3,603,191 |
| その他(純額) | 533,407 | 567,216 |
| 有形固定資産合計 | 11,230,174 | 12,941,458 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 309,678 | 305,524 |
| 投資有価証券 | 12,535,526 | 11,891,393 |
| 退職給付に係る資産 | — | 15,723 |
| その他 | 261,297 | 275,611 |
| 投資その他の資産合計 | 12,796,823 | 12,182,728 |
| 固定資産合計 | 24,336,677 | 25,429,711 |
| 資産合計 | 53,265,415 | 54,771,132 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,944,584 | 4,708,725 |
| 未払金 | 696,549 | 589,069 |
| 未払法人税等 | 702,979 | 561,833 |
| 賞与引当金 | 635,230 | 419,429 |
| 役員賞与引当金 | 118,100 | 69,165 |
| 環境対策引当金 | 101,400 | 66,102 |
| 設備関係未払金 | 444,091 | 222,624 |
| その他 | 662,057 | 828,306 |
| 流動負債合計 | 7,304,994 | 7,465,256 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 2,659,469 | 2,600,112 |
| 環境対策引当金 | 178,193 | 116,861 |
| 退職給付に係る負債 | 132,453 | 129,394 |
| 長期末払金 | 24,984 | 15,600 |
| 長期預り保証金 | 99,213 | 103,293 |
| 資産除去債務 | 9,430 | 9,430 |
| その他 | 9,926 | 12,379 |
| 固定負債合計 | 3,113,671 | 2,987,072 |
| 負債合計 | 10,418,665 | 10,452,328 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,933,221 | 5,933,221 |
| 資本剰余金 | 6,803,377 | 6,803,377 |
| 利益剰余金 | 23,358,507 | 25,007,945 |
| 自己株式 | △1,025,109 | △1,025,592 |
| 株主資本合計 | 35,069,997 | 36,718,952 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,675,536 | 6,255,735 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7,877 | 1,507 |
| 為替換算調整勘定 | 365,750 | 536,672 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △3,152 | △7,925 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,046,012 | 6,785,990 |
| 非支配株主持分 | 730,739 | 813,860 |
| 純資産合計 | 42,846,750 | 44,318,803 |
| 負債純資産合計 | 53,265,415 | 54,771,132 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 22,394,247 | 24,789,324 |
| 売上原価 | 15,631,945 | 17,050,343 |
| 売上総利益 | 6,762,301 | 7,738,981 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,772,811 | 3,982,692 |
| 営業利益 | 2,989,490 | 3,756,288 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23,868 | 27,079 |
| 受取配当金 | 186,399 | 204,857 |
| 雑収入 | 24,140 | 24,941 |
| 営業外収益合計 | 234,408 | 256,879 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 951 | 749 |
| 為替差損 | 31,895 | 31,575 |
| 雑損失 | 4,809 | 60 |
| 営業外費用合計 | 37,656 | 32,385 |
| 経常利益 | 3,186,242 | 3,980,782 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,211 | 233 |
| 投資有価証券売却益 | 74,511 | 0 |
| 子会社出資金売却益 | 309,852 | — |
| 特別利益合計 | 386,575 | 233 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 73,448 | 50,619 |
| 減損損失 | 42,158 | — |
| 投資有価証券売却損 | — | 324 |
| 特別損失合計 | 115,607 | 50,944 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,457,210 | 3,930,071 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 720,969 | 1,026,701 |
| 法人税等調整額 | 225,579 | 153,153 |
| 法人税等合計 | 946,549 | 1,179,855 |
| 四半期純利益 | 2,510,661 | 2,750,216 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,449,168 | 2,682,476 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 61,492 | 67,739 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,648,517 | △419,801 |
| 繰延ヘッジ損益 | 537 | △7,078 |
| 為替換算調整勘定 | 57,278 | 224,464 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,370 | △4,773 |
| その他の包括利益合計 | 1,709,703 | △207,188 |
| 四半期包括利益 | 4,220,364 | 2,543,027 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,136,677 | 2,422,454 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 83,687 | 120,573 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|----------|--|
| | 工業用製品 事業 | 家庭用製品 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,183,324 | 7,467,981 | 21,651,306 | 742,941 | 22,394,247 | — | 22,394,247 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 135,761 | 30,031 | 165,792 | 25,602 | 191,394 | △191,394 | — |
| 計 | 14,319,085 | 7,498,013 | 21,817,098 | 768,543 | 22,585,641 | △191,394 | 22,394,247 |
| セグメント利益 | 1,790,979 | 1,092,088 | 2,883,067 | 106,422 | 2,989,490 | — | 2,989,490 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

家庭用製品事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、42,158千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|----------|--|
| | 工業用製品 事業 | 家庭用製品 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 17,511,167 | 6,412,413 | 23,923,580 | 631,594 | 24,555,175 | — | 24,555,175 |
| その他の収益 | — | — | — | 234,149 | 234,149 | — | 234,149 |
| 外部顧客への売上高 | 17,511,167 | 6,412,413 | 23,923,580 | 865,744 | 24,789,324 | — | 24,789,324 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 115,643 | 32,939 | 148,582 | 31,813 | 180,396 | △180,396 | — |
| 計 | 17,626,810 | 6,445,352 | 24,072,162 | 897,558 | 24,969,720 | △180,396 | 24,789,324 |
| セグメント利益 | 2,842,905 | 665,469 | 3,508,375 | 247,913 | 3,756,288 | — | 3,756,288 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益への影響はありません。